



Banco MUFG Brasil S.A.  
Treasury & Markets  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

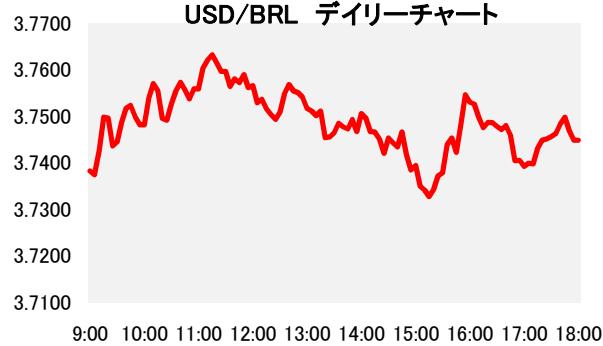
## 1. マーケット・レート

			6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月18日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7200	3.7220	3.8060	3.7300	3.7450	+0.0150
	BRL/JPY	Spot	29.670	29.650	29.07	29.68	29.52	-0.16
	EUR/USD	Spot	1.1745	1.1789	1.1569	1.1610	1.1622	+0.0012
	USD/JPY	Spot	110.35	110.34	110.61	110.66	110.55	-0.11
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	7.075 7.955	7.192 8.139	7.524 8.660	7.259 8.319	7.081 8.257	-0.179 -0.062
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	4.100 4.734	4.229 4.914	4.124 4.858	4.051 4.615	3.984 4.561	-0.067 -0.055
株式	Bovespa指數		72,754.13	72,122.13	71,421.19	70,757.75	69,814.75	-943.00
CDS	CDS Brazil 5y		265.14	264.06	270.77	272.06	278.09	+6.03
商品	CRB指數		200.144	200.091	199.008	196.237	196.183	-0.05

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

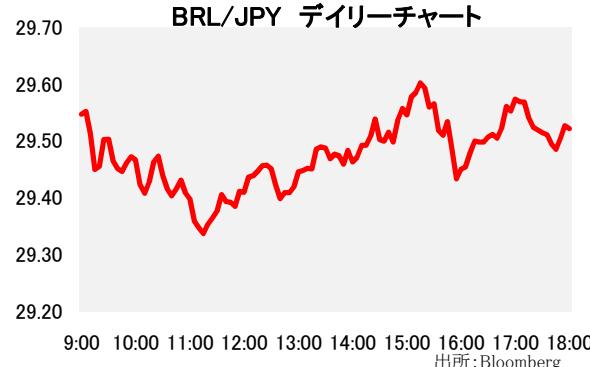
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.93%	1.00%	0.70%
貿易収支(週次)	--	\$1970m	\$581m
NAHB住宅市場指數(米)	70	68	70



## 3. 要人コメント

なし	
----	--



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.7420で寄り付き、正午前に日中安値3.7640を付けた。特段目立った材料に乏しい中、伯中銀によるドル売り介入を受けてレアルは午後にかけて底堅く推移、日中高値3.7320まで上昇した。その後、伯中銀が10月の大統領選まで現在のドル売り介入を続けるのは難しいとの報道が出たことで3.75台半ばまで反落。然しながら後に伯中銀がこの報道を否定したことからレアル売りは続かず、結局3.7450でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が1.94%から1.76%、2019年は2.80%から2.70%へ下方修正された。インフレ率予想は2018年が3.82%から3.88%、2019年は4.07%から4.10%へ上方修正。年末の為替レートは2018年が3.50から3.63、2019年が3.50から3.60へレアル安方向に修正された。
- 本日、伯中銀は引き続きドル売りリップスの入札を実施した。既存ポジションのロールオーバー4.4億ドルに加えて10億ドルの追加入札を実施。今週、伯中銀は合計で100億ドルの追加入札を行うとしており、本日については想定よりも小規模の入札となつた。介入による市場への影響を見極めるために規模を縮小したとの見方もあるが、本日のレアル相場は底堅い動きが続いた。

当資料は一般的な情報提供の目的で作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に応対することを意図していません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図していません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人、顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。